

## 不妊治療と生殖ビジネスの深い闇を、当事者が暴く。 人間の倫理を問う、出色の科学ノンフィクション。

### ドナーで生まれた子どもたち 「精子・卵子・受精卵」売買の汚れた真実

著者：サラ・ディングル 発行：日経ナショナル ジオグラフィック

日経ナショナル ジオグラフィック（代表：滝山晋、所在地：東京都港区虎ノ門）は、

『ドナーで生まれた子どもたち 「精子・卵子・受精卵」 売買の汚れた真実』を9月20日（火）に発行します。

「私は、母と『誰かの精子』の間に生まれた」。本書は、オーストラリアの著名ジャーナリストが、自身がドナーによる精子提供で生まれたと知ったことをきっかけに、生物学上の父親を探す調査を開始し、不妊治療の名のもとに行われるドナーによる懐胎（Donner Conception 以下DC）というビジネスについて、10年という歳月をかけて綴ったノンフィクションです。

いまやDCは一般に認識されている以上に広く浸透していますが、その実情は想像以上に異様で、多くの問題をはらんでいます。DC児たちにドナーが誰であるか知る権利は保証されていないため、自身の出自はもちろん、持っているかもしれない遺伝性の疾患や、いるかもしれないきょうだいの存在、あるいはその数を知るすべはありません。日本でも同様の問題は起きています。

これまでに世界各地から75人の異母きょうだいを見つけたジョーイ・ホフマンは国連のスピーチで訴えました。「自分が大量生産された人間というモノのひとつに思えてきます。（中略）どうかお願いします。これからは子どもたちの基本的な権利や利益を、優先リストの最下位に置くのではなく、最優先にするように努めてください」。丹念な取材と迫真の証言により、明らかになる生殖医療とドナービジネスの問題。「人間が人間を繁殖させること」について、DC当事者である著者が、その倫理性と問題の本質を鋭く問いかけます。



### ドナーで生まれた子どもたち

#### 「精子・卵子・受精卵」売買の汚れた真実

サラ・ディングル 著／渡邊真里 訳／2022年9月20日発行／定価 2,420円（10%税込）／488ページ／ソフトカバー／188mm×129mm／  
日経ナショナル ジオグラフィック 発行

#### 【主な内容】

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 父だと思っていた人     | 7 養子縁組制度とDC      |
| 2 私を失った私        | 8 声を上げるDC児たち     |
| 3 人工授精の始まり      | 9 リスクとともに生きる     |
| 4 体外受精とビジネスの幕開け | 10 ずさんな医療記録      |
| 5 失われた情報        | 11 DCによるHIV感染の実例 |
| 6 法の不在          | 12 感染ドナー排除への道のり  |
|                 | ほか全35章           |

#### 商品のご案内

<https://nationalgeographic.jp/atcl/product/22/082600035/>

#### Amazon

<https://www.amazon.co.jp/dp/4863135378>

#### 楽天ブックス

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17270747/>

- 不妊治療と生殖ビジネスの深い闇を、当事者が10年の歳月をかけて綴る、出色の科学ノンフィクション！
- 著者はDC当事者であり、数々の報道に関する賞を受賞している著名なジャーナリスト！
- フィクションにはない迫力！現代社会にはらんだ問題を、丹念な取材と迫真の証言により臨場感たっぷりにあぶり出す！

【報道関係者からの問合せ先】 日経ナショナル ジオグラフィック 広報事務局

株式会社リリオ 担当：仁地（にんち） TEL：03-6438-9195 090-2226-6459 ninchi.mikito@lirio.biz